

(5) 海外との学校交流について

【済寧孔子国際学校（中国）の訪問】

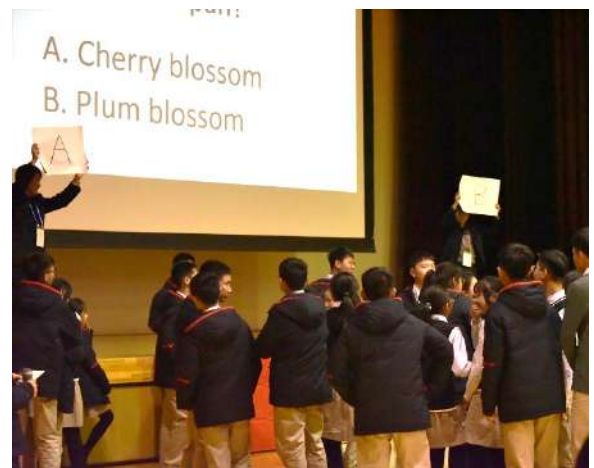
1 概要

奈良インバウンド促進事業の一環として、海外からの訪日教育旅行の一層の誘致を目指した学校交流を県観光プロモーション課からの要請により本校で受け持つことになった。

日 時 令和2年1月20日（月）午後
受け入れ 生徒 68名
引率者 9名（教員6名、ガイド3名）
対応生徒 第1学年 計360名

2 プログラム内容

12:30頃	畝傍高校到着（多目的D教室に案内）
13:00～13:35	歓迎セレモニー (1)畝傍高校教頭より挨拶（当日校長出張により不在のため） (2)生徒代表挨拶 (3)訪問団代表挨拶 (4)バディ（海外交流委員＋有志）紹介
13:50～14:35	(6限) 授業見学
14:45～15:30	(7限) 文化創造館で交流会 企画①学校紹介・環境に対する取り組みプレゼンテーション 企画②レクリエーション 企画③訪問生徒によるダンス 集合写真撮影
15:50～16:20	校舎見学・クラブ活動見学
16:30	見送り（文化創造館前）



3 総括

今年度の学校交流では、1年生の海外交流委員および有志生徒が準備および運営に携わり、熱心に活動した。新学期に入り、わずか1週間程度の短い期間で準備をし、自分たちで積極的にアイデアを出しながら取り組む姿が印象的であった。また、8名の有志生徒も意欲的に活動した。有志のうち1名は本校で受け入れている交換留学生で、他の生徒と連携しながら活動する様子が見られ、非常に熱心に取り組んだ。学校紹介と環境に対する取り組みのプレゼンテーションは、先方からの要望で、日本の学校における環境に対する取り組みを、生徒が自らプレゼンテーションを作成し、英語を用いて紹介した。

具体的には、ゴミの分別回収や、昼食のお弁当文化について紹介した。レクリエーションは、生徒がアイデアを出し合って、クイズと「だるまさんが転んだ」を行った。英語による説明で通じるように、工夫を凝らしたプレゼンテーションをつくり、見本を見せるなど、様々な工夫が見られた。

受け入れた生徒は、日本における中学1年生から高校1年生に相当する生徒たちで、日本の文化を積極的に学ぼうとする姿勢や、交流行事を積極的に楽しもうとする姿が好印象で、短い時間であったが、本校生徒と親睦を深めることができていた。

授業見学を受け入れた本校教員も、様々な工夫を凝らして学校交流をより良いものにしようと尽力できていた。

全体として、各担当生徒や教員の努力により良いもてなしをすることが出来たと考える。運営に携わった生徒は、英語を積極的に使い、異文化交流の良い機会となった。この経験が生徒の今後の進路やキャリアを選択していくきっかけの1つになればと考える。



【Byron Bay High School (オーストラリア) の訪問】

1 概要

アドバンストコース生徒の海外研修の受け入れなど、Byron Bay High School (オーストラリア) と畝傍高校との間には、学校間での交流が継続して行われている。今回 Byron Bay High School 生徒が日本に滞在する行程において、後半の日程におけるホームステイの受け入れ家庭を本校生徒より募集した。また、第2学年の生徒を中心として交流会を行った。

日 時	令和元年10月19日(土)～10月22日(火)
受け入れ 生徒	16名(男子5名、女子11名)
引率教員	2名(担当教員)
対応生徒	第2学年生徒 400名(アドバンストコース生徒 20名を含む) 第1・第3学年ホストファミリー受け入れ生徒

2 プログラム内容

10月19日(土)	畝傍高校到着 多目的D教室にて歓迎セレモニー ホストファミリーとの対面
10月20日(日)	各ホームステイ先にてホストファミリーとの交流
10月21日(月)	午前 本校教員の引率で橿原市周辺を散策 午後 授業見学 文化創造館にて第2学年生徒との交流会 (学校紹介、日本クイズなど) 部活動見学
10月22日(祝・火)	食物室にてアドバンストコース生徒との交流会 大会議室にて送別会



書道の授業見学



第2学年生徒との交流会



日本の料理作り



送迎会

3 総括

台湾への研修旅行帰国の翌日からという日程であったが、ホームステイ受け入れ生徒およびアドバンストコース生徒を中心に事前の準備を行ってくれた。今回来日した Byron Bay High School 生徒には積極的な生徒が多く、本校生徒とのコミュニケーションも非常に活発に行われていた様子であった。

21日(月)～22日(月)の交流会においては、アドバンストコース生徒が中心となって企画を行った。21日には、第2学年の各クラスにおいて授業見学をした後、文化創造館において本校の紹介や日本に関するクイズなどで交流を図り、放課後には部活動の見学なども行った。22日(火)には本校食物室を利用して Byron Bay High School 生徒とともに日本の料理を作るなどの交流を実施した。いずれの日程も生徒同士の交流は和やかな雰囲気で行われ、Byron Bay High School 生徒もプログラムを楽しんでいる様子であった。

本校の生徒たちも、初めこそ緊張した様子であったが、積極的に英語を用いてコミュニケーションをとる姿勢を見せてくれた。研修旅行での B&S プログラムなどの経験が生徒の中でも自信につながっているように感じる。外国から来日した同じ世代の高校生に日本のことや学校のことを紹介する準備をするために、自分たちの住んでいる場所の文化や自分たちの通う学校についても改めて考える機会を持つことができた。時間の制約もあり、全ての生徒が直接交流する機会をもつことはできなかったので、今後同様の機会があれば改善していきたい。

なお、Byron Bay High School と畝傍高校は両校間の協力関係を更に発展させていくことを目的として、2019年12月18日に国際交流協定 (Memorandum of Understanding (MOU)) を締結した。以下、この国際交流協定の詳細を示しておく。

This Memorandum of Understanding (MOU) is between:

Byron Bay High School
2 Arakwal Court, Byron Bay, NSW, Australia, 2481

And

Unebi Senior High School
13-2, 3 Chome, Yagicho, Kashihara City, Nara, Japan, 634-0078

("The Parties").

BACKGROUND

On 18/12/2019 Byron Bay High School and Unebi High School reached an understanding in relation to a mutually beneficial relationship.

Byron Bay High School and Unebi High School wish to continue the cooperative relationship through this MOU with the aim of further developing cooperative arrangements to the benefit of all Parties.

GENERAL OBJECTIVES

The Parties agree as follows:

- 1. Recitals**
- 1.1 This MOU provides the framework within which detailed proposals for reciprocal programs of cooperation in education are to be jointly considered by the Parties.
- 1.2 The Parties will cooperate in implementing educational activities on a reciprocal basis as outlined in this MOU.
- 1.3 This MOU is not intended to impose binding legal obligations on either of the Parties.

SPECIFIC OBJECTIVES

The Parties agree as follows:

- 2. Period of Memorandum of Understanding**
- 2.1 This MOU will operate from the date of signing and will end on **31/12/2020**.
- 2.2 This MOU may be amended or extended by mutual agreement between the Parties. Any amendment shall be in writing and signed by each party to be effective.
- 2.3 This MOU may be terminated by one party giving to the other Parties three (3) months notice in writing.

3. Cooperation

3.1 Cooperation between the Parties under this MOU includes the following activities and programs: (select desired activities as described below or add other agreed activities)

- Exchange of teaching methodologies / curriculum / program outlines.
- Student e-pals - exchange of emails.
- Student project / assignment conducted by both schools on an agreed topic / subject area.
- Lessons by videoconference (if technology available).
- Staff professional learning by videoconference.
- Reciprocal school visits for up to 20 students and 2 teachers for a period of 5 days to be conducted annually.

3.2 Where the Parties agree to collaborate on specific reciprocal programs, the terms and conditions will be set out in future agreements.

Execution of this Memorandum of Understanding for a Sister School Agreement

This MOU was signed by the Parties on 20/12/2019 (date)

in Byron Bay High School (location) in the state of New South Wales / province of NSW

On behalf of (name of school):

) Byron Bay H.S.
)

And

On behalf of (name of overseas school):

) Utsuki High School.
)

JANINE MARCUS

Shaw.

Name
Principal

河合保壽

[Name]
[Title]

Kawai Yasuhide
Principal

この国際交流協定（MOU）は、バイロンベイハイスクール（2 Arakwal Court, Byron Bay, NSW, Australia, 2481）畝傍高校（13-2, 3 Chome, Yagicho, Kashihara City, Nara, Japan, 634-0078）両提携校間において締結されたものである。

背景

2019年12月18日、バイロンベイハイスクールと畝傍高校は互惠関係に関して合意した。バイロンベイハイスクールと畝傍高校は、両提携校のさらなる共同契約関係を発展させるためにこの国際交流協定（MOU）を通じて協力関係の継続を希望する。

目的（一般）

両提携校は以下の通り合意する。

1. 前文

- 1.1 この協定は相互の教育共同プログラムの枠組みを示し、その範囲内において、プログラムの詳細な内容が両提携校により共同で創出されるべきものとする。
- 1.2 両提携校は、この協定に示された通り、相互間において教育活動を実施することで協力する。
- 1.3 この協定は両提携校のいずれかに拘束力のある法的義務を課すことは意図しない。

目的（特定）

2. 国際交流協定（MOU）の期間

- 2.1 この協定は協定締結の日から2020年12月31日までとする。
- 2.2 この協定は両提携校間の相互の合意に基づいて修正または延長することができる。
- 2.3 この協定は、一方の提携校の書面による3ヶ月前の通告により終わらせることができる。

3 協力

3.1 この協定の下で行われる両提携校間の協力には以下の活動とプログラムを含む。
（以下に示された活動の中から希望する活動を選択、またはその他同意した活動があれば追加）

- ・教授方法、カリキュラム、プログラムの概略の交換
- ・生徒間のEメール交換
- ・合意した話題、教科領域における両提携校の生徒によるプロジェクトや課題
- ・ビデオ会議による授業（技術的に可能であれば）
- ・ビデオ会議による教員間の専門学習
- ・毎年5日間、生徒20名、教員2名までの相互の学校訪問

3.2 両提携校は詳細な相互プログラムにおいて協力することに同意するが、契約条件は将来の合意において定めるものとする。

姉妹校締結に関する国際交流協定（MOU）の執行

この国際交流協定はバイロンベイハイスクール（所在地：ニューサウスウェールズ州バイロンベイ）において、2019年12月20日両提携校により締結された。

（学校名）
バイロンベイハイスクール

（学校名）
畝傍高校

（校長名）
JANINE MARCUS

（校長名）

（署名）

（署名）

【東山高級中学・景美女子高級中学への訪問（台湾研修旅行）】

本年度から2年生で行う研修旅行が台湾となり、テーマ別研修で2日に分かれ、2つの高校と交流を図った。10クラスをA班とB班に5クラスずつに分け、1日目はA班の40人が東山高級中学と2日目はB班の40人が景美女子高級中学とそれぞれ交流を図った。まず、全生徒の前で海外研修旅行委員が、それぞれの学校交流についてプレゼンテーションを行い、全生徒から希望を募り、その後、40人ずつを決定した。次に、台湾の高校の先生と連絡を取り合い、当日にどのように研修を進めていくのか意見交換して、テーマを決定した。

夏休みの時間を使って、生徒たちに学校紹介の準備やいくつかのグループに分かれてそれぞれのテーマについて調べ、発表する準備を行った。

【A班：東山高級中学】

プログラム内容

9:30頃	東山高級中学到着（会議室へ）
10:00～10:30	歓迎セレモニー (1)東山高級中学校長より挨拶 (2)畝傍高校副学年主任挨拶 (3)記念品交換 (4)東山高級中学の紹介 (5)畝傍高校の紹介
10:40～11:50	8グループに分かれて、それぞれのテーマについて、事前に準備してきた内容についてプレゼンをお互いに行い、ディスカッションを行う。



歓迎セレモニーの様子



グループでのディスカッション



東山高級中学の紹介

【B班：景美女子高級中学】

プログラム内容

9:30頃	景美女子高級中学到着（会議室へ）
10:00～10:30	歓迎セレモニー (1)景美女子高級中学校長より挨拶 (2)畝傍高校学年主任挨拶 (3)記念品交換 (4)景美女子高級中学校の紹介 (5)畝傍高校の紹介 (6)集合写真撮影
10:40～11:50	地球温暖化問題についてのグループワーク いくつかのグループに分かれて、地球温暖化問題についてそれぞれの立場から、解決に向けてのディスカッションを行う。



歓迎セレモニーの様子



ディスカッション

3 総括

今年度より研修旅行が台湾になり、テーマ別研修の中で、A班・B班ともに学校交流を行った。自分たちで『学校交流』を選択した生徒たちなので、全員が積極的に参加していたように思われる。夏休み前から、台湾の学校と先生同士で連絡を取り合い、交流の内容に関して打ち合わせを行ってきた。生徒たちには、夏休み中から、それぞれの班で事前に研究をして、2学期に入ってから事前学習を行った。最初は、台湾の高校生の英語力のすごさに戸惑っている部分もあったが、高校生同士ということもあり、時間がたつにつれて、お互いに仲良くなり、テーマごとにグループに分かれてのディスカッションのときには熱い議論が繰り広げられていた。交流終了後も、お互いに写真を撮ったり、連絡先を交換したりして、名残惜しそうにしていた。事後のアンケートでも、「事前準備はたいへんであったが、現地の高校生と交流ができて楽しかった。これからも英語力をもっとつけて、積極的に海外の人たちと交流していきたい」と感想で述べていた。台湾の高校生の英語力の高さとコミュニケーション能力の高さに驚きを感じる学校交流であった。ただ、生徒たちの感想でもあったが、畝傍高校の生徒にとっても今回の交流で多くのことを学ぶことができる素晴らしい機会であったと思われる。半日間という短い時間であったが、お互いに有意義な時間を過ごせていたので、是非とも来年度以降も続けていきたいと感じた。